

會 告

名簿整理について

震災や疎開等で會員の異動は頗る多數に上つてゐる。それ等の會員中新通信先を届出ない者が尠くないため會誌や郵便物が返送され會との連絡が寸絶してゐる者が相當多い。この度會員名簿を印刷するに當つてこれ等を整理して學會と會員及會員同志の連絡を緊密にしてゆきたいと思ふ。ついでには會員中でその後異動のあつた方は至急勤務場所及住所を御通知していただきたい。又知人、同僚の方々で會誌を受取つてゐない人があつたら至急會へ連絡するやうお話し願ひたい。

尙現在會誌は 9,000 部印刷してゐるが返送されるものが約 2,500 ある。紙が不足してゐる現在、これらの無駄は是非なくして必要量だけ印刷してゆきたいと思ふ。

論文集配布に就て

長らく御迷惑をかけた昭和 21 年論文集は愈々發刊の運びに至り目下發送中である。紙不足のため餘分に印刷することが出来ず、残部も僅少であるゆえ、その後の希望者は至急誌代 20 圓を添へ申込まれたい。

尙今回の論文集は第 1・2 合併號として印刷した故御了承願ひたい。内容は次の通りである。

車輪に依り與へられる側壓應力に關する一試験	神 谷 修 作
砂の運動機構 (1)	最 上 武 雄
管内に於ける攔まり流れ及平行な流れの流速分布に就て	青 松 健 一
吊橋の振り振動に對する安定性に就て (2) (3)	平 井 敦 仁
波高の大きい波の變形に就て	本 間 舜 三
横荷重を受ける吊橋	岡 本 舜 一
走行荷重による鋪裝版の振動に就て	青 松 健 一
地下水面下の土砂の内部摩擦角に關する一試験	松 尾 春 雄
水文學に於ける非對稱分布に就て	岩 井 重 久

土木ニュースの發刊

敗戦後の經濟的其の他の困難な事情に打克つて土木學會が正常の發展を遂げる爲には會員の意思と密接な關係を持ち、其の上に立脚したものでなければならぬ。即ち會員の土木學會でなくてはならない。

國家の新しい發展に對し土木の持つ使命は重大なものであつて、これに對し横貫的な組織を持つ必要がある。土木技術界の中心的立場を持つべき性格の土木學會がこうした會員との結びつきの下會長の發刊の辭にある如く社會への啓蒙へもり出さうとしてゐるのである。

新聞の性格上少くとも週刊が望ましいが現在は月一回である。しかし若し事情が許したならばもつと回數を増したい意向である。會員への無料頒布の外少しは市販にも出そうと心掛けてゐるがあくまでも會員の新聞であるといふ性格を保持してゆく。この點會員諸兄の積極的な援助と遠慮のない意思の發表が望まれる譯である。

編輯は編輯部内に在來の會誌編輯委員會 (委員長、平井敦) の他に新に次の如き新聞編輯委員會 (委員長、奥田教朝) を設け編輯上の全責任を持つ事にした。

編輯委員は、青木、井上、奥野 (建設技術研究所)、奥村 (東大第一工學部)、葛生、久保 (東大第二工學部)、左合 (東京都)、高橋 (運輸省)、高畑 (商工省)、新妻 (運輸省)、長谷川 (開組)、福岡 (内務省)、村上 (内務省) 以上 13 名で、此の外に編輯囑託は内田 (運輸省)、井上 (東京都)、岩崎 (運輸省) の名である。

土木ニュース原稿募集

- 土木、建築等建設に關するニュース、論說、研究、特に地方並に業界に關するニュースを歓迎する。
- 原稿は 2000 字以内で明瞭に記すること。
- 氏名、勤務先、住所を明記すること。
- 原稿は一切返却致しません。尙原稿の取捨は編輯委員に一任されたい。
- 原稿送り先は 東京都中央区新川 2 丁目 12 土木學會新聞編輯委員會宛